

# 藤沢市 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	オリンピック開催準備関係費										担当	部課名	生涯学習部東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	赤坂 政徳	電話	6312

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技が、藤沢市江の島で開催されることに伴い、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進に向け、ボランティア等推進計画をはじめとした各種事業計画の実行、気運醸成事業の実施、開催準備等に係る関係機関等との協議・調整を行う。						
事業目的および必要性	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の会場関連自治体として開催準備等を適切に行うとともに、大会の開催を好機と捉え、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進を通じて、まちの魅力を創出することを目的としている。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等							
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 電通東日本 ほか ) (委託等内容 : 「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」管理業務 ほか ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : セーリングワールドカップシリーズ江の島大会実行委員会負担金 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援		2-1-11		「生涯学習ふじさわプラン2021」 「スポーツ推進計画:みらいふじさわスポーツ元気プラン」 「藤沢市文化芸術振興計画」			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか		2.00 点	1.78 点	2.00 点	2.34 点		
		点	点	点	点		

令和元年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	報償費	523 千円	気運醸成事業, 1年前公開記者発表謝礼 ほか
	委託料	65,202 千円	気運醸成事業, ボランティア計画 ほか
	使用料及び賃借料	1,471 千円	電子複写機, 軽自動車リース ほか
	負担金補助及び交付金	11,946 千円	セーリングワールドカップシリーズ負担金 ほか
106,012 千円	その他	26,870 千円	賃金, 旅費, 消耗品 ほか
【参考】 令和2年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	1,000 千円	気運醸成事業, 聖火リレー出演謝礼 ほか
	委託料	415,171 千円	気運醸成事業, ボランティア運営 ほか
	使用料及び賃借料	1,554 千円	電子複写機, 軽自動車リース ほか
	負担金補助及び交付金	11,422 千円	セーリングワールドカップシリーズ負担金 ほか
475,741 千円	その他	46,594 千円	シティキャストフジサワユニフォーム, 旅費, 消耗品 ほか

## 2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
正規職員等	8.00	9.00	13.00	14.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	1.00	2.00	3.00
合計	8.00	10.00	15.00	17.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

令和元年度 事業実施 内容	●陸上パラレー実技指導:587人 ●東京2020スポGOMI大会:162人 ●フラワーレーンプロジェクト種まきイベント: 1,760人 ●フラワーレーンプロジェクトベニューツアー:52人 ●市長公開記者発表:250人 ●パラリンピアン教室:体 験会50人, 観覧130人 ●オリンピック教室:体験会60人, 観覧250人 ●セーリングフェスタ:139人 ●セーリング特別 授業:625人 ●ブラインドサッカー特別授業:336人 ●セーリング魅力発見クルージング:233人 ●ボルトガル料理教 室:24人 ●応援団オリジナルテキスト英語講座:52人 ●応援団サポーターズミーティング:36人 ●ヨットの日映画鑑 賞:100人 ●オープン参加:大会1年前記念イベント, パラスポーツフェスタ, 藤沢市民まつり, ふじさわ産業フェスタ他 ●セーリングすごろく配布:児童25,000人 ●海外セーリングチームとの交流事業6事業 他						
	成果目標	指標名	単位	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値
	普及啓発事業の参加者数	人	1,000	1,500	2,500	5,000	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	備考
	普及啓発事業実施数	回	18	27	40	43	新型コロナウイルスの感染防止のため, 4事業が中止
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	普及啓発事業の参加者数	人	1,291	2,471	2,707	5,537	
	数値で表せない効果						
	展示会や各種イベント出展などのオープン参加事業の参加者数						

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	126,521	120,348	204,823	245,207			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	99,551	119,238	193,744	242,073			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	22,387	28,770	63,408	97,841			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	77,164	90,468	130,336	144,232			
	①職員給与合計(常勤)	72,808	82,971	119,171	127,974			
	②報酬合計(非常勤)	0	3,468	5,066	8,171			
	③退職金相当額	4,356	4,029	6,099	8,087			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	26,970	1,110	11,079	3,134			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	26,970	1,110	11,079	3,134			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
	収入	行政収益(事業収入) B	7,429	8,675	14,484	13,713		
(3)現金を伴う収入 (千円)		7,429	8,675	14,484	13,713			
①分担金及び負担金 c		0	0	0	0			
②使用料及び手数料 d		0	0	0	0			
③国庫支出金		0	0	0	0			
④県支出金		7,429	8,675	14,484	13,713			
⑤その他( )		0	0	0	0			
(4)現金を伴わない収入 (千円)		0	0	0	0			
収入未済増減額	0	0	0	0				
収支差額(純費用)A-B E	119,092	111,673	190,339	231,494				
分析指標	項目	普及啓発事業の参加者数 F	1,291	2,471	2,707	5,537		
			単位 人	単位 人	単位 人	単位 人		
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	98,002.32	48,704.17	75,664.20	44,285.17			
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	280.15	425.105	261.22	427.501	443.35	429.317	534.55
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 職員数…〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)  
 ※2 人件費…〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額  
 ※3 退職金相当額…年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	①市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進していくための具体的な筋道 ②周辺住民の生活環境に直接影響する江の島島内会場利用計画及び周辺の利用制限等に関する情報提供
(2) (1)解決のための令和元年度の取組	①「大会関連ボランティア等実施計画」を実行に移すことで、大会関連ボランティアのみならず、2020応援団藤沢ビッグウェーブを始めとした市独自のボランティアの活躍の場も検討し、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進 ②大会関係者、関係機関との協議・調整を重ね、大会実施へ向けた情報共有、計画の確認
(3) 令和元年度末時点の課題	①東京2020大会延期に伴う、再調整とリスケジュール
(4) (3)解決のための今後の取組	①大会関係者、関係機関との再協議・再調整及び情報提供

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	○	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
		ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの ○ エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	○	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和元年度支出済額	
		○	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		○	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合			
○		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの発生により、東京2020大会開催に関する動向が注視されている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020大会の1年延期を受けて、R2年度オリンピック関連予算の減額を行っている自治体もある。</li> </ul>	
市民ニーズ	把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会(3回開催)及び各分科会(合計4回開催)</li> <li>・2020応援団 藤沢ビッグウェーブの活動 7回実施</li> <li>・各種講座・イベントでの意見, アンケート回収</li> </ul>
	把握内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020大会開催へ向けて、環境整備をする必要がある。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックについて関わる方法を知りたい。</li> </ul>
	対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内関係課・関係機関と協議・調整を行い、公衆トイレの改修や観光案内サインの整備を行った。</li> <li>・2020応援団 藤沢ビッグウェーブを通じて情報提供を行うとともに、市独自のボランティア活動の場を生み出した。</li> </ul>

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>東京2020大会のセーリング競技開催会場自治体としての使命を果たすため、1年前イベントを始めとした数多くの事業を実施することで、気運の醸成を図った。事前キャンプ受け入れへ向けた準備を進めると同時に、セーリングワールドカップシリーズを機に、各国との交流を深めた。</p> <p>また、シティキャストフジサワ(藤沢市都市ボランティア)のメンバーも確定し、イベントや研修を通じたボランティアの育成を図り、2020応援団 藤沢ビッグウェーブを始めとした、市独自のボランティア活動の機会も整えた。</p>	
	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	<p>東京2020大会が1年延期となり、今後は、ボランティアメンバーのモチベーションを維持しながら、社会情勢を注視しつつ時期を計り、再度、大会直前の気運醸成を図る。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
(1)④	東京オリンピック・パラリンピックに係る関係組織との連絡調整	無	有	3	3
(1)⑤	東京オリンピック・パラリンピックに係る各種啓発事業	有	有	3	3
(1)⑥	東京オリンピック・パラリンピックに係るボランティアの育成事業	無	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------